

事例 5

「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」を活用した事例

校 種	小学校	学 年	6 年
テーマ	家庭の仕事をみつめよう		
領 域	教科（ 家庭科 ）		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭には、家族の生活を支える様々な仕事があることを理解させる。 ○ 家族が互いに理解し合い、よりよい家庭生活を送るために、男女が共に責任を担っていくことの大切さに気づかせる。 		
<p>【学習展開（概要）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自分や家族がしている家庭の仕事を調べて表にし、気づいたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんやおばあさんが家庭の仕事をほとんどしている。 ・自分が学校にいる間も、家族は家庭の仕事をいろいろとしている。 ・自分にできる仕事を決めて毎日続けている。 ・自分はあまりしていない。 2 家庭の仕事について役割分担する理由を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることを家族にしてもらっていることがある。 ・お手伝いをしたとき家族に喜んでもらって、嬉しかった。 ・家族の一員として自分にできる仕事を見つけて続けていきたい。 3 家族の一員として家庭生活上で大切にしていきたいことやこれから自分にできそうな家庭の仕事を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日 ・長期休業中 			
<p>【工夫・配慮点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表を活用して家庭の仕事調べをする中で、家庭には様々な仕事があることやよりよい家庭生活をおくるために家族は支え合っていることに気づかせる。 ○ 自分にできそうな家庭の仕事をみつけ、一週間記録をとりながら実践する。 ○ 実践の振り返りをもとに家族と相談して夏休み中に家事の分担に取り組みさせる。 ○ 保護者に対して学級通信により取組の趣旨を伝え、家庭で温かく見守って頂けるよう協力を依頼する。 			
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の中には今まで気づけなかった家族の生活を支える仕事があることやよりよい生活を送るために家族は支え合っていることに気づけた。 ○ よりよい家庭生活を送るためには、家族の一員として家庭の仕事を分担することの大切さを理解することができた。 ○ 家庭の協力を得ながら、学習したことを夏休みを利用して家庭生活に活かすことができ、実践を通してより理解が深められた。 		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も家庭と連携しながら、よりよい生活につなげるよう、継続して取り組む必要がある。 		